

2016  
No. 300  
2

『だれもが その人らしく 安心して暮らせる福祉社会の実現』をめざして

# いばらきの 社会福祉

Social Welfare of Ibaraki



常総市災害ボランティアセンター支援の様子（関連記事P4, 5）

## Contents

- ②～③ 関会長ご挨拶  
災害支援活動を考えるフォーラムのご案内  
ほか
- ④～⑤ 関東・東北豪雨災害への対応について  
災害ボランティア活動・サロン活動について
- ⑥～⑦ 地域福祉活動レポート  
NPO法人とらい（水戸市）
- ⑧～⑨ 介護支援専門員実務研修受講試験の結果  
就職相談会のご案内 ほか

- ⑩ 福祉サービス苦情解決研修会のご案内
- ⑪ information
- ⑫ わかち合おう小さな善意

### はんどちゃんを紹介

はんどちゃんは、「福祉コミュニティづくり県民運動」のキャラクターとして茨城県社会福祉協議会、茨城県内の市町村社会福祉協議会を中心に活躍しています。

みんなの手で地域をつくらう



はんどちゃん

ふれあいネットワーク

社会福祉法 茨城県社会福祉協議会

## ご挨拶

社会福祉法人茨城県社会福祉協議会  
会長 関 正 夫



日頃から、茨城県社会福祉協議会の活動に深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

昨年9月10日に発生いたしました「関東・東北豪雨災害」により、茨城県内でも人的被害や建物被害が発生しました。

被害を受けられました皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

また、復旧活動や被災者支援にご尽力をいただきました方々に、心から感謝いたします。

さて、地域社会においては、生活困窮や虐待、社会的孤立などの福祉課題・生活課題が深刻化しています。

このような中、社会福祉法人制度改革などにおいて、我々社会福祉関係者にはより積極的な地域貢献等が求められております。厳しい経済情勢等の中、難しいことであろうかと思いますが、社会福祉法人創設の主旨に立ち返って皆様の期待に応えられるよう努力していかねばならないものと考えています。

私も茨城県社会福祉協議会といたしましても、こうした取り組みのほか、依然として厳しい福祉・介護分野における福祉人材の確保等の課題に対して、市町村社会福祉協議会などの関係機関・団体の皆様と連携を図りながら、解決に向けて取り組むなど「誰もが、その人らしく、安心して暮らせる福祉社会の実現」を目指して、より一層邁進してまいる所存であります。

どうぞ、ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

なお、被災地での復旧・復興に向けた支援活動の在り方を考える「連携による災害支援活動を考えるフォーラム」を開催いたしますので、多くの皆様の参加をお待ちしております。



## 連携による災害支援活動を考えるフォーラム

～東日本大震災発生から5年 自然災害への備えを万全に!～

東日本大震災による地震・津波で大きな災害を体験してから5年を迎えますが、茨城県では、これまでの間にも、つくば市を中心とした突風竜巻災害、常総市等県西地域における豪雨災害に見舞われるなど甚大な被害を受けたところであり、県内各地において自然災害の脅威が現実的のものとなっています。

こうした中で、各被災地の復興状況を確認するとともに、「連携」をキーワードに、被災地での復旧・復興に向けた支援活動の在り方を考えるためにフォーラムを開催します。



【開催日時】 平成28年3月11日(金) 11:00～16:30 (受付10:30から)

【内 容】 10:30～11:00 受付

11:00 開会・オリエンテーション

11:15 特別講演1「NGO・NPOが行う被災者への支援活動との連携～常総市の6か月」

講師：災害NGO 結 代表 前原土武 氏

12:45 災害ボランティアセンター活動報告「各災害VC設置社協からの報告」

13:45 災害支援活動報告「常総市内で活動した団体からの災害支援活動報告」

15:15 特別講演2「災害VCの連携した支援活動を考える」

講師：全国社会福祉協議会 全国ボランティア・市民活動振興センター 園崎秀治 氏

16:30 閉会

【会 場】 茨城県開発公社ビル 4階大研修室(水戸市笠原町978-25)

【参加対象】 県内市町村社会福祉協議会役職員

茨城県防災ボランティアネットワーク連絡協議会構成団体職員

市町村防災・ボランティア担当職員

【定 員】 150名

参加をご希望の方は…  
茨城県社会福祉協議会  
福祉のまちづくり推進部  
TEL: 029-243-3805  
FAX: 029-241-1434  
平成28年3月3日(木)まで



# 第20回茨城県健康福祉祭 いばらきねんりん文化祭 わくわく美術展



高齢者の創作による美術作品を展示することにより、高齢者の芸術活動の促進や、生きがい健康づくりの増進を目的として、第20回茨城県健康福祉祭わくわく美術展を開催いたします。

## ■わくわく美術展

### 【会期】

平成28年2月20日(土)～2月26日(金)

### 【会場】

茨城県立県民文化センター美術展示室  
及び分館

### 【問合せ先】

〒310-8586 水戸市千波町1918  
茨城県総合福祉会館3階  
茨城県社会福祉協議会  
茨城わくわくセンター  
TEL：029-243-8989  
FAX：029-244-4652



<昨年度の美術展の様子>

## 茨城県知事へ社会福祉に関する要望書を提出

県社協を含む県内の福祉団体が構成される茨城県社会福祉予算対策委員会は、10月6日、県庁にて「平成28年度県社会福祉に関する要望書提出式」を行いました。

要望書では、福祉・介護人材確保等の推進と、27年4月に施行された「障害のある人もない人も共に歩み幸せに暮らすための茨城県づくり条例」の周知徹底についての2点を重点要望に掲げています。

また、県社協としては、人材確保関係事業をはじめとする4事業の事業継続や充実について要望しました。

提出後は知事と委員で意見交換を行い、橋本知事からは、「これからも関係団体の皆様からのお話を伺いながら県政に反映させていきたい」とのお話がありました。



上方委員長が橋本知事に要望書を提出しました

### ●県社協要望事項●

- 1 生活福祉資金貸付制度の円滑な推進について
- 2 福祉職場の理解促進のための教育現場への継続的な働きかけ
- 3 介護福祉士等修学資金貸付制度の継続について
- 4 日常生活自立支援事業の補助金増額について



# 平成27年関東・東北豪雨災害への対応

台風 18 号から変わった温帯低気圧や台風 17 号などの影響により線状降水帯が発生し、県内でも豪雨となり、9 月 10 日 7 時 45 分に茨城県に大雨特別警報が発令されました。

常総市では鬼怒川の堤防が決壊し、市内の広範囲において浸水しました。その他の市町村でも住家被害が発生し、県内全域では全壊 54 件、大規模半壊 1,666 件、半壊 3,752 件、床上浸水 207 件、床下浸水 3,751 件（全て 12 月 28 日現在の数値であり、今後の調査により増減することがある）と県内各地で甚大な被害が発生しました。

被害の大きかったつくば市、境町、常総市では社会福祉協議会等が中心となり災害ボランティアセンターが設置されました。

## ■ 県内の災害ボランティアセンターの設置状況

- ・つくば市災害ボランティアセンター（9月11日開設～10月13日閉所）
- ・境町災害ボランティアセンター（9月12日開設～12月28日閉所）
- ・茨城県災害ボランティアセンター（9月12日開設～9月30日で常総市災害ボランティアセンターへ統合）
- ・常総市災害ボランティアセンター（9月13日～11月15日）※11月16日からは「常総市社協地域支えあいセンターへ移行」

茨城県社会福祉協議会では9月10日午前10時に「茨城県社会福祉協議会福祉救援災害対策本部」及び「ボランティア支援本部」を設置し、常総市社会福祉協議会などへ役職員を派遣するとともに各種情報の収集を行うほか、下記の活動を行いました。

## ■ 茨城県社会福祉協議会の主な活動

### ○茨城県社会福祉協議会の役職員派遣

常総市社会福祉協議会など被災地の社会福祉協議会の支援や情報収集を行うため、役職員を毎日派遣し、11月30日までに286人の役職員を派遣しました。

### ○県内市町村社会福祉協議会の職員派遣調整

常総市社会福祉協議会が設置した常総市災害ボランティアセンターの運営支援を行うため、茨城県社会福祉協議会と県内市町村社会福祉協議会間で締結している「社会福祉協議会における災害時支援に関する協定」に基づき県内の市町村社会福祉協議会職員の派遣を要請し、9月14日から11月30日の間に延べ2,400人の職員を派遣いただきました。



常総市災害ボランティアセンター入口表示

### ○関東甲信越静岡ブロックの都県指定都市社会福祉協議会の職員派遣調整

関東甲信越静岡ブロックの都県指定都市社会福祉協議会間で締結している「災害時の相互支援に関する協定」に基づき関東甲信越静岡ブロックの都県指定都市社会福祉協議会に職員の派遣を要請し、9月15日から11月15日の間に721人の職員を常総市災害ボランティアセンターに派遣いただきました。

### ○有料道路無料化関係業務

有料道路の通行料金の無料措置が講じられたため、「災害派遣等従事車両証明書」の交付申請時に必要な「災害ボランティア証明書」の発行事務を、10月1日から11月30日まで本会で対応しました。

### ○その他

ボランティア保険料の負担、災害ボランティアセンターの運営に必要なボランティア送迎用車両手配の調整、資機材の提供などを行いました。



茨城県社会福祉協議会入口表示

被災地では、復旧・復興へ向けての活動が現在も行われており、引き続き皆様の御支援・御協力をお願い申し上げます。



## 災害とボランティア

関東・東北豪雨災害による災害において、被災地には全国から多くのボランティアが駆けつけ、被災地の復旧・復興に大きな力を果たしています。

今一度、災害におけるボランティア活動とはどのようなものなのかを考えてみたいと思います。

災害時に活動するボランティアが脚光を浴びた歴史を紐解くと、平成7年（1995年）1月の阪神淡路大震災まで遡ることができます。阪神淡路大震災以降、日本各地で発生した災害で多くのボランティアが活躍しています。



### 災害ボランティア活動の例

- ・被災者に対する直接的な活動  
被災者個人宅等の片付け、炊き出し、傾聴等
- ・被災者に対する間接的な活動  
災害ボランティアセンターでの資機材整理、PC入力等
- ・救援物資の提供、義援金や支援金の募金活動 等



災害ボランティア活動の例にもあるように、被災地では被災者に対する直接的な活動の他にも、災害ボランティアセンターに来所したボランティアがスムーズに活動できるよう、センターの運営を支えるボランティアも必要とされています。

県民一人ひとりが万一の災害に備え、災害ボランティアが必要となったとき、自分のできる範囲で、できる限りのボランティア活動をしてみませんか。

## 災害時、ほっとできる場所のひとつ“サロン活動”

災害は一瞬で多くの人や物を喪失させるとともに、地域のコミュニティをも脅かします。発災後訪れる非日常の連続は、被災者にとって大きなストレスとなります。このような状況において、被災者同士の交流や情報交換、楽しみや生きがいが見つけられる場として有効な取り組みが“サロン”活動です。これまでも、多くの被災地で“サロン”が開かれています。

被災直後に避難所などで開かれる「お茶会」や「傾聴」などの取り組みも“サロン”活動の一環です。“サロン”で実施される、おしゃべりやレクリエーション、趣味の活動、季節のイベントなどは、参加者や運営者など人と人との交流を増やし、楽しみや生きがいづくりに繋がり、安心して生活できる環境づくりに役立つ活動としても注目されています。

東日本大震災の発災から今年で5年が経過する今でも、東日本大震災の被災地では多くの“サロン”が開かれている一方で、関東・東北豪雨災害においても、避難所においてボランティアが主催する「行茶」など、傾聴を主とした“サロン”活動も行われ、多くの被災者の心を癒すことにつながっています。



## はんどちゃんネットワーク活動 地域福祉活動 レポート!

平成27年12月3日取材

水戸市



# NPO法人とらい ひきこもり青年に 寄り添うということ ～小さな一歩は大きな勇気～

## ひきこもりがちな青年が持っている可能性を引き出す

みなさんは、「ひきこもり」と聞いてなにを思い浮かべますか。

「ひきこもりの原因は、いじめられた、また就職活動に失敗した、あるいは職場の人間関係など、その悩みは人それぞれで、解決法や社会に出るまでの過程もまた十人十色です。そのため、『これが正解』という万人に当てはまるサポートはないのです」

こう語るのは、水戸市で活動しているNPO法人『とらい』事務局長の方喰英幸さん。現在、『とらい』では、①研修事業としてのお弁当販売、②相談・フリースペース、③講演会・学習会、④職場実習体験の4つを柱として、ひきこもりがちな青年が社会に出る後押しをしています。

## お弁当作りで自然とコミュニケーション力UP

「そもそも、『とらい』の前身は、『茨城NPOセンター・commons』の青年サポート事業です。そこでは、レストラン運営の中から、それぞれの青年に見あった作業を通して青年サポート活動をしていました。しかし、レストランは、午前中から午後3時ごろまで、どうしても時間に拘束されてしまいます。そんなとき、限られた時間のなかで、より集中的に活動ができる『お弁



お話を伺った事務局長の方喰英幸さん。



化学調味料を使わないお弁当作りが自慢です。



ひとつずつ丁寧におかずを詰めていきます。



この日のお弁当メニューは、カレーボール、鶏のグリル焼き、カジキとほうれん草のバター醤油炒め、フレッシュサラダ、炒り豆腐、カブの煮物と具だくさん。



水戸市にあるNPO法人『とらい』。温もりのある外観が目印です。

当販売』を思いついたのです。これであれば、午後の空いた時間にそれぞれのスキルアップの時間に充てられますからね。そこで、2003年10月、commonsの青年サポート事業から独立して、NPO法人『とらい』が誕生しました。いまでは、平日の朝8時半から約2時間かけてお弁当作り、そして配達までを研修生とスタッ



いざ、配達へ！真心を込めてお届けします。

フが協力しながら行っています。もちろん、メニューも研修生が考えているんですよ」(方喰さん) 研修生は、お弁当作りを通じて、仕事に対して責任を持

つだけでなく、自然とコミュニケーション力も高まります。そしてそれが、自分自身の自信へとつながるのです。

### 気軽にお喋りフリースペースで横のつながりを

そのほか、毎月第1・第3木曜日、さらに最終金曜日の夜には、『フリースペース』を開設しています。

『とらい』のフリースペースは、議題に沿って話し合う場ではありません。だれでも参加でき、初めての人、友人、もちろん私たちスタッフなど、お菓子を食べながら気軽にお喋りをしましょう、というものです。大切なのはこの場を通して横のつながりを作ること。ちなみに最終金曜日は、研修生手作りの特製ネパール風スパイスカレーを用意してお待ちしていますよ」(方喰さん)

### 一番うれしいことは“研修生の変化”

方喰さんは、研修生たちが活動を通じて、「彼らの変化がみられたときが一番うれしい」と語ります。たとえば、今まで包丁を持ったことすらなかった青年が、ひとりで調理をしている姿をみたとき、また会話が苦手だった青年と話ができるときなど、長年付き合っていると変化が目に見えてわかるそうです。

### 大切なことは一人ひとりを理解し寄り添うこと

ただし、こうしたお弁当販売やフリースペースで個人の能力を高めたとしても、周りのサポートなしでは、引きこもりの青年たちが社会と接点を持ち続けることは難しいと 方喰さんは語ります。

「大切なことは、周囲が一人ひとりに寄り添い、状況に応じたサポートをすることです。しかし、社会ではまだまだ『ひきこもり』に対する理解が乏しい現状にあるため、ひきこもりについて、ひとりでも多くの方の支援と理解を得るために、定期的に講演会などを行っています」(方喰さん)

さらに、『とらい』では、企業に呼びかけ実習生の社会的経験を補うために、職場見学を行っています。これからは職場実習体験などにつなげていきたいと考えています。

最後に方喰さんは今後の活動について、「今後は、

研修生・保護者・スタッフの3者と社会がうまく連携・協力しながら、青年たちの社会参加をサポートしていきたいですね」と力強く語ります。

みなさんの周りにも悩んでいる人は必ずいます。そしてそれは自分自身に置きかえて考えても同じではないでしょうか。もし、自分が悩んでいるとき、手を差し伸べてくれる人がいると、どれほど心が楽になるでしょう。つまり、ひきこもりは「決して他人事ではない」のです。大切なのは“寄り添うこと”——。こうした姿勢が今日の日本社会に求められているのではないのでしょうか。



研修生の手仕事が光る作品！まさに職人技ですね。



当日のフリースペースの様子。お菓子を食べながら話が弾みます。

ご家族に引きこもりがちの青年がいる方  
社会へ出たいと思っているあなた  
一人で、または家族で悩まず、  
お気軽にご連絡下さい。

同じ悩みを持つ仲間がいます。

まずは、お電話、FAX、メールでお問い合わせください。

**NPO 法人 とらい**

TEL/FAX : 029-233-6544

メール : npotry@npotry.org

住 所 : 水戸市五軒町 2-2-23-101



## 平成27年度茨城県介護支援専門員実務研修受講試験の結果（10月11日(日)実施）

今年度の受験者は3,143名で、そのうち合格者は356名、合格率は12.8%という結果になりました。

<職種別合格者数構成比率>

職 種	合格者数（人）	構成比率（％）
介 護 福 祉 士	224	62.9
看 護 師	42	11.8
社 会 福 祉 士	33	9.3
相 談 援 助 従 事 者 等	20	5.6
保 健 師	13	3.7
理 学 療 法 士	13	3.7

県社協では、合格者を対象に「介護支援専門員実務研修」（7日間、47.5時間）を平成28年1月～3月にかけて実施します。実務研修の全課程を修了することにより介護支援専門員として登録ができ、介護支援専門員証が交付されることにより実際に実務に従事することができます。

## 福祉・介護職を目指す方へ ～就職相談会のご案内～

茨城県福祉人材センター（無料職業紹介所）では、福祉・介護職を希望する方を対象に、キャリア支援専門員による「福祉・介護職場就職相談会」を開催しています。この機会をぜひご活用ください。

## 福祉・介護職場就職相談会

就職活動や資格等に関する相談をお受けします。

	地域別開催会場	開催日程	
		2月	3月
開 催 日 程	[結 城 市] 結城市役所駅前分庁舎内	10 (水)	9 (水)
	[常陸太田市] 常陸太田市総合福祉会館内	16 (火)	15 (火)
	[笠間市地域] 笠間市友部社会福祉会館内	18 (木)	10 (木)
	[牛久市地域] 牛久市役所分庁舎内	18 (木)	10 (木)
	[守谷市地域] いきいきプラザ・げんき館内	18 (木)	17 (木)
	[坂東市地域] 岩井福祉センター「夢積館」内	26 (金)	25 (金)
	[鉾田市地域] 鉾田市鉾田中央公民館内	19 (金)	18 (金)
	[東海村地域] 東海村総合福祉センター「絆」内	3 (水)	2 (水)
相 談 時 間	13:30～15:30		
参 加 対 象	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉の職場に就職を希望する方</li> <li>・福祉の職場に関心のある高校生／専門学校生／短大生／大学生の方</li> <li>・福祉の仕事／資格取得に関心のある方</li> <li>・求人事業所の方</li> </ul>		
相 談 内 容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・求職に関する相談</li> <li>・福祉の仕事／資格等の相談</li> <li>・求人に関する相談</li> </ul>		
参 加 方 法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談無料</li> <li>・予約制</li> </ul>		
申 込 ・ 問 合 せ 先	茨城県福祉人材センター 029-244-4560		





**茨城発 求職者支援強化事業**

**ふれあってくらしをささえるしあわせな職業 どう？**

**「ふくし職働」のご案内**

「ふくし職働」では、福祉の仕事を希望する方や、福祉の仕事を続けていこうとする方をお手伝いするために、各種講座の実施や自由に話せる場（サロン）の開設を行っています。

<p>主 な 内 容 (おしながき)</p>	<p>◇すぐ役立つ初心者のための介護入門／2月23日(火)、3月8日(火) 18:00～20:00                  ◇知っておきたい職場の基本マナー／2月9日(火) 18:00～20:00                  ◇職業適性診断／3月18日(金) 13:30～15:30                  ◇面接対策&amp;履歴書・職務経歴書攻略講座／2月19日(金) 13:30～15:30、3月22日(火) 18:00～20:00                  ◇和紙・ちぎり絵講座／2月25日(木) 13:30～15:30                  ◇マジック講座／3月24日(木) 13:30～15:30                  ◇夕暮れしゃべり場(サロン)／隔週水曜日 18:00～20:00                  2月3日、2月17日、3月2日、3月16日                  詳細については、茨城県社会福祉協議会ホームページ (<a href="http://www.ibaraki-welfare.or.jp/">http://www.ibaraki-welfare.or.jp/</a>) をご覧ください。</p>
<p>参 加 対 象</p>	<p>・福祉の職場に就職を希望する一般の方や学生                  ・福祉の仕事に関心のある方                  ・現在福祉のお仕事に就いている方                  ・講座に関心のある方</p>
<p>参 加 費</p>	<p>無 料</p>
<p>開 催 場 所</p>	<p>茨城県総合福祉会館2階 茨城県福祉人材センター内 「ふくし職働」ルーム</p>
<p>申 込 方 法</p>	<p>受講申込書に必要事項を記入の上、郵送又はFAXにて各講座開催日の2日前までにお申し込みください。(電話申込可)</p>
<p>申込み・問合せ先</p>	<p>茨城県福祉人材センター 029-244-4544</p>



私は、古河市（旧三和町）社会福祉協議会に平成12年に就職しました。15年の間多くの社協職員と知り合い、仲間になったのではないかと思います。まず、初めの年には新任研修へ参加しました。当時は2泊3日の研修会で、介護保険法施行に伴い各社協ともに人員の補強期で参加人数は非常に多かったように覚えています。一社協での同期は多くて2、3人が大半だと思いましたが、県内社協には多くの同期が居ることになります。なかなか会う機会も無いのが現状ですが今でも業務を通じて相談などが出来る関係です。その間に市町村合併によって古河、総和、三和の社協も合併になり職場での仲間も増えましたし、その後、職連協の役員をさせて頂くことがあり、また違った形で新たな仲間が出来ました。関東ブロックの当番県ということもあり、一つのプロジェクトを実施しました。9年に1度の機会に担当できたことは非常に大きな経験になりました。また、職連協では自分が新任の時に参加した新任研修を実施する側になったこともとても良い経験になりました。ある事業

の時には「お久しぶりです！」と新任研修の参加者に声をかけられることもあり、実施することも新たな仲間と出会えたと感じています。ちなみに、このリレートークもその仲間からのお誘いです^^;ある意味ではこのようなお誘いをいただけることもありがたいことと思います。茨城県の最も西側に位置する古河市社協に「お酒は飲めないけど、美味しいものが大好きな竹村君がいる」と覚えていただいていることは本当にうれしいことです。他県の社協職員の先輩に言われた一言を今になって再認識しています「社協の職員にとって一番大切なことは、知り合い（仲間）がたくさん居ることだよ」そんな一言が今では自分の中で最も大切にしていることのように思います。社協の職員としてだけではなく、地域の自治会や、子供会、さらには地元消防団など人と人との出会いの場だと考え積極的に参加してより多くの仲間を今後も増やしていきたいと考えています。



古河社協マスコット「もちちゃん」



# 平成27年度 福祉サービス苦情解決研修会の開催について

茨城県運営適正化委員会では、福祉サービスの利用者等からの苦情に適切に対応するため、事業所の福祉サービス苦情解決責任者等を対象とした、苦情の現状や解決方法についての研修会を開催しています。本年度は次のとおり開催いたしますので、皆様のご参加をお待ちしております。

- 期 日 平成28年3月1日(火) 13時30分から15時40分(受付12時45分から)
- 会 場 茨城県立県民文化センター 大ホール(水戸市千波町東久保697番地)
- 対象者 福祉サービス事業所の苦情解決担当者、苦情受付担当者、第三者委員、その他役職員
- 定 員 1400名(定員になり次第、締め切らせていただきます。)
- 参加費 無料
- 内 容 13時30分 開会・あいさつ  
13時40分 「サービス利用者の権利擁護と苦情解決の役割とは」  
講師 茨城県社会福祉士会 会長 竹之内章代 氏  
(東海大学 健康科学部社会福祉学科 専任講師)  
15時40分 閉会
- その他 会場の駐車場は、駐車台数に限りがあります。当日は大変混み合う見込みとなっておりますので、乗り合わせのうえ来場されるか、公共交通機関をご利用ください。
- お問い合わせ先  
茨城県社会福祉協議会 運営適正化委員会 事務局  
TEL:029-244-3147 FAX:029-305-7194 住所:水戸市千波町1918



平成27年度 社会福祉施設 総合損害補償 **しせつの損害補償** インターネットで保険料試算できます [ひくしの保険](#) [検索](#)

老人福祉施設、障害者支援施設、児童福祉施設の **事故・紛争円満解決のために!**

プラン1 施設業務の補償 (賠償責任保険、自動車総合保険)

① 基本補償(賠償・見舞)

賠償事故	基本補償(A型)	見舞費用付補償(B型)
対人賠償(火災・盗難)	2億円・10億円	2億円・10億円
対物賠償(火災)	2,000万円	2,000万円
受託・管理財物賠償(盗難)	200万円	200万円
5ヵ月現金補償限度額(盗難)	20万円	20万円
人格権侵害(盗難)	1,000万円	1,000万円
身体・財物の盗難を伴わない経費の損失(盗難)	1,000万円	1,000万円
給付対応費用(盗難)	500万円	500万円
事故給付見舞費用(火災につき)	死亡10万円 障害障害金20-10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (1事故あたり2回限)	死亡10万円 障害障害金20-10万円 入院時 3万円 通院時 1万円 (1事故あたり2回限)
利用者傷害事故見舞費用		死亡時100万円 入院時15-70万円 通院時1-35万円

② 年額保険料(掛金)

定 員	基本補償(A型)
1~50名	35,000~61,460円
51~100名	68,270~97,000円
以降1名~10名増ごと	1,500円

基本補償(A型) + 保険料 + 【見舞費用加算】  
定員1名あたり  
入院:1,300円  
通院:1,380円

プラン2 施設利用者の補償  
プラン3 施設職員の補償

スケールメリットを活かし、**割安な保険料と有利な補償と**です。

◆27年度新設 施設の借用不動産賠償事故補償  
●この保険は全国社会福祉協議会が損害保険会社と一括して締結する団体契約(賠償責任保険][普通傷害保険][労働災害総合保険][約定履行費用保険][自動車総合保険]です。  
●このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容のお問い合わせは下記にお願いします。

団体 社会福祉法人 **全国社会福祉協議会**  
(引受幹事保険会社) 損害保険ジャパン日本興亜株式会社  
TEL:03(3593)6824

代理店 株式会社 **福祉保険サービス**  
〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F  
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763

# INFORMATION

## 募集 「高齢者はつつ百人委員会」委員を募集します

☆高齢者自らが地域の高齢者を対象に健康づくり、生きがいづくりに関する事業を、企画し実施する委員会です。ぜひご応募ください。



### ■応募資格

県内に住んでいる概ね60歳以上で、委員会の活動にきちんと出席できる方。  
 ※委員として5期10年務めた方を除く。  
 ※地方公共団体の長及び議員は除く。  
 ※報酬・交通費はなし。

### ■任期

平成28年4月から平成30年3月末日

### ■応募方法

はがきに住所・氏名(フリガナ)・年齢・性別・電話番号と「応募の動機、活動の抱負、社会活動歴など」を明記し、2月29日(月)まで(当日消印有効)に申し込んでください。

※応募多数の場合は、募集期限前に募集を締め切る場合があります。

### ■応募・問合せ先

〒310-8586 水戸市千波町1918

茨城県社会福祉協議会

茨城わくわくセンター

TEL: 029-243-8989

FAX: 029-244-4652



## 募集 元気シニアバンクをご利用ください!

特技を生かして、ボランティア活動をしたい方! 元気シニアバンクに登録しませんか。

### ■元気シニアバンクとは

・豊富な知識・技術・経験・ノウハウを持った高齢者が、登録されている人材バンクです。

・原則無償です。(交通費、材料代は、原則依頼者のご負担になります。)

### ■登録されると

茨城わくわくセンターが、団体等からの依頼を受け、登録されている方(茨城シニアマスター)と調整を行い、活動者を決定します。

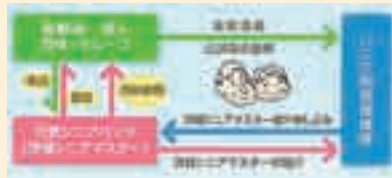
### ■登録したいとき

元気シニアバンク登録申請書により、茨城わくわくセンター宛にお申し込みください。(登録要件有)

### ■問合せ先

茨城県社会福祉協議会 茨城わくわくセンター

TEL: 029-243-8989



## お知らせ サロンコンサートを開催しています!

茨城県総合福祉会館では、毎月、「県民サロンコンサート」を開催しています。次回の開催予定は下記のとおりです。皆様、ぜひお越しください。

### ■開催日時・内容

2月26日(金) 12時から13時

団塊世代の皆様方への唄の贈り物

出演: クライミア、ホクラニ フラ、Moon

3月17日(木) 12時10分から13時

オカリナコンサート

出演: オカリーナ フレンズ・Mito

### ■会場

茨城県総合福祉会館1階 県民サロン

(水戸市千波町1918番地)

### ■お問い合わせ先

茨城県総合福祉会館 事務室

TEL: 029-244-4545



## 「新設福祉施設のご紹介」平成27年8月1日～10月31日までの開設

●特別養護老人ホーム 双葉陽だまり館  
 社会福祉法人 愛の会  
 定員/70名 ユニット型  
 〒311-4144 水戸市開江町7番地  
 TEL: 029-306-7521

●特別養護老人ホーム 藤の家 社会福祉法人 藤の会  
 定員/40名 ユニット型、30名 従来型  
 〒311-1425 鉾田市湯坪2166-8  
 TEL0291-32-5322

## 茨城県総合福祉会館 利用の案内

茨城県総合福祉会館では、広く県民の皆様に気軽にご利用いただけるよう、県民サロンを利用したサロンコンサートの開催や、ギャラリーでの展示会をはじめ、コミュニティホール(定員296名)・多目的ホール・研修室の貸出しを行っています。各種講習会や研修・会議等にご利用ください。



〒310-0851 水戸市千波町1918 TEL 029-244-4545 FAX 029-244-4548

わかち合おう小さな善意 ~みなさまからのあたたかいご支援を紹介します~

平成27年8月~平成27年10月 善意金等の預託と払い出し状況 (敬称略)

交通遺児福祉基金

預託者名	金額 (円)
茨城県自動車整備業界親睦ゴルフ大会	100,000
合計	100,000

善意金

預託者名	金額 (円)
モアナスターズ	30,071
茨城県ばら切花研究会	19,195
丸大食品株式会社	8,292
セカンドライフ茨城運営委員会	221,302
匿名	1,000,000
匿名	2,000
合計	1,280,860



善意品

預託者名	善意品	払出先名
早川ぶどう園	ぶどう狩り招待 38名	県内社会福祉施設
(公財) 報知社会福祉事業団	プロ野球招待 48名	県内社会福祉施設



茨城県自動車整備業界親睦ゴルフ大会



モアナスターズ

使用済み切手・使用済みテレホンカード等

預託者名
一般社団法人 茨城県自動車整備振興会/ケアハウスみと/常陽ボランティア倶楽部/木名瀬設備/株式会社 旭物産/株式会社 常南部品商会/ NPO 法人 茨城県ケアマネジャー協会/株式会社 平山ピアノ/茨城県保健福祉部 子ども家庭課、長寿福祉課/社会福祉協議会 (坂東市、桜川市、土浦市、城里町、銚田市、小美玉市、水戸市)

